地方独立
行政法人 **奈良県立病院機構　新奈良県総合医療センター**

※北西方向からの鳥瞰図

全室南向きの明るい病棟、開放的な広い外来。
患者さんの治療意欲を育む、和やかな環境です。

1．新病院の主な機能

・病床数：540床
・搬送ルールに則った断らない救急医療の充実、ER体制の確立
・集中治療部門の強化と各診療分野の急性期医療の充実
　ICU（集中治療室24床）HCU（高度治療室40床）
・質の高いがん医療の提供
　最新の放射線治療機器の整備、外来化学療法室の拡充（20台）
　緩和ケア病棟20床の設置
・高リスクの妊産婦に対応した周産期医療の充実
　MFICU（母子胎児集中治療室3床）LDR室（陣痛・分娩・回復室3室）
　NICU（新生児集中治療室12床）GCU（回復治療室18床）
・最適な療養環境の提供

2．医療専門職教育研修センター

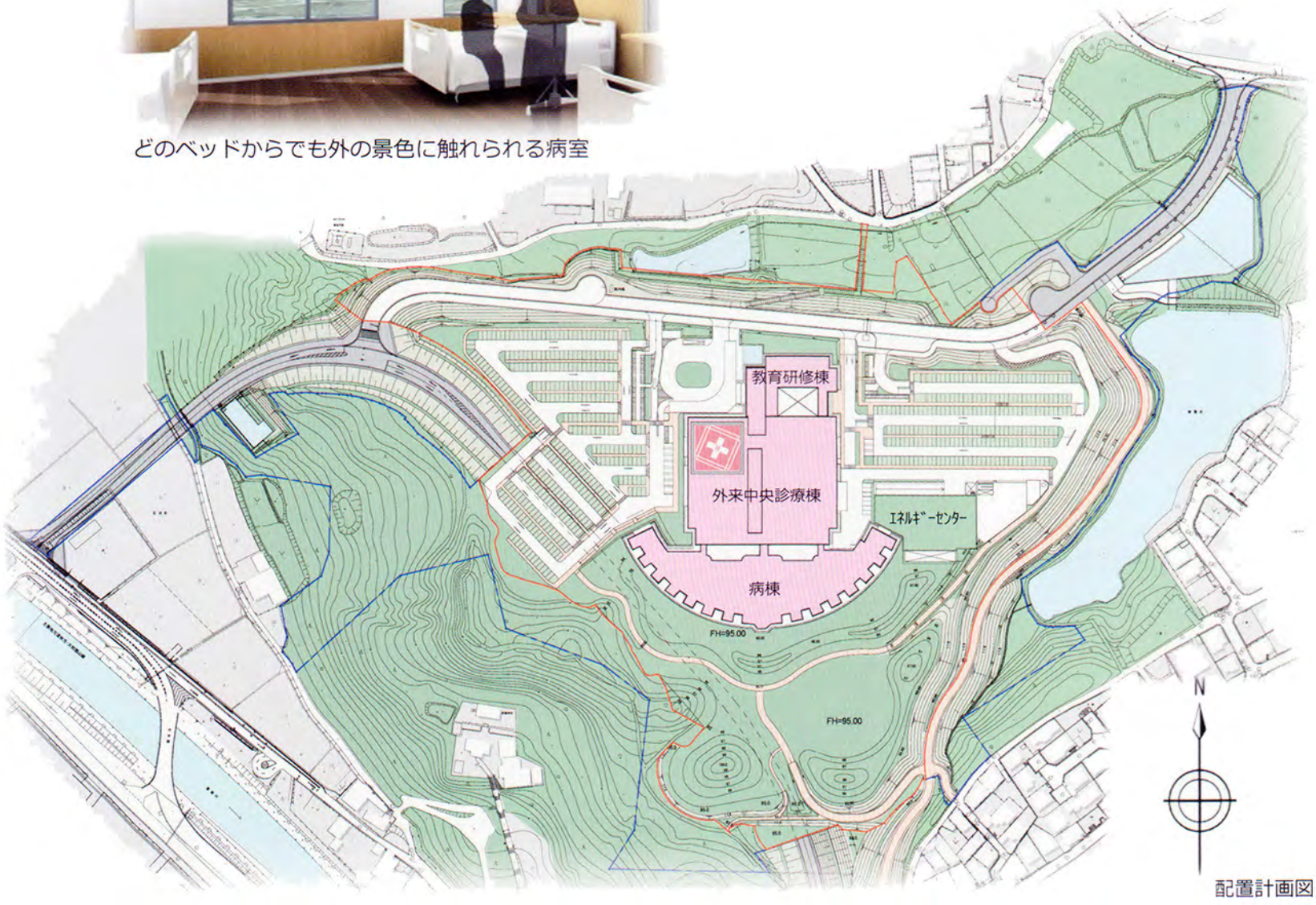
・医療専門職の研修体制の充実
　（講堂200人、会議室3 室、研修室2室など）
・職員のキャリアアップ・スキルアップの支援
・地域の医療者の教育・研修の場として活用

◆建物概要

□所在地　　：奈良市七条西町2丁目　地内
□構造　　：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造（免震構造）
□階数　　：地下１階、地上7階
□高さ　　：24.9m
□建築面積　：14,114.46㎡
□延床面積　：67,525.73㎡
□病床数　　：540床
□駐車台数　：560台　　駐輪台数214台
□平成29年中　施設完成予定

※南東方向からの鳥瞰図

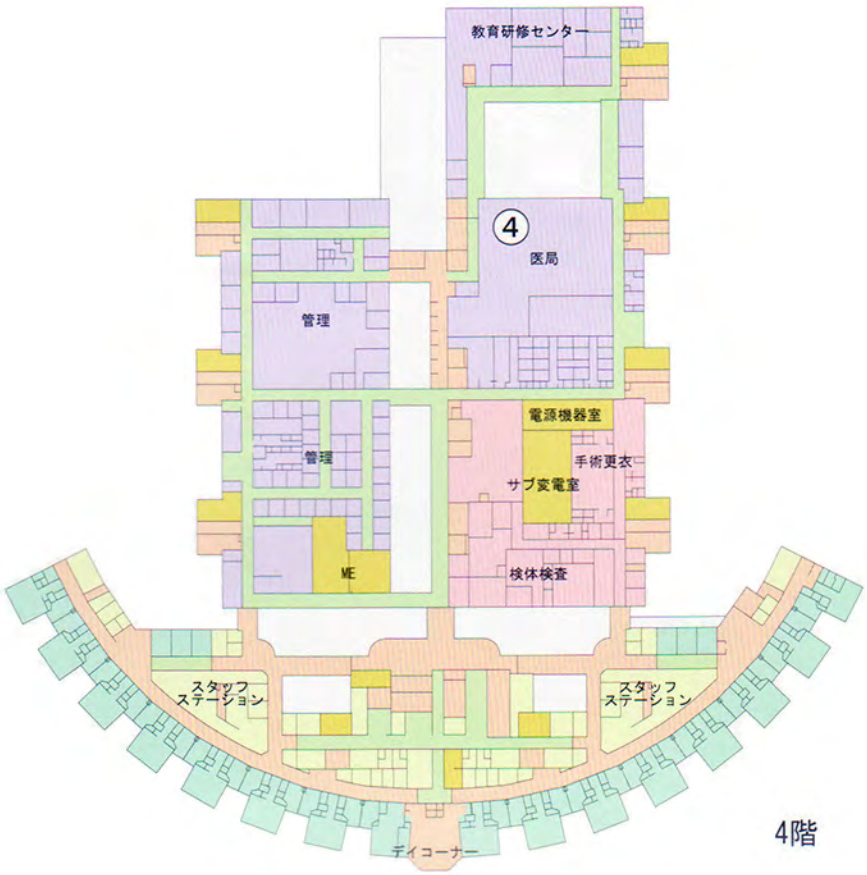
どのベッドからでも外の景色に触れられる病室



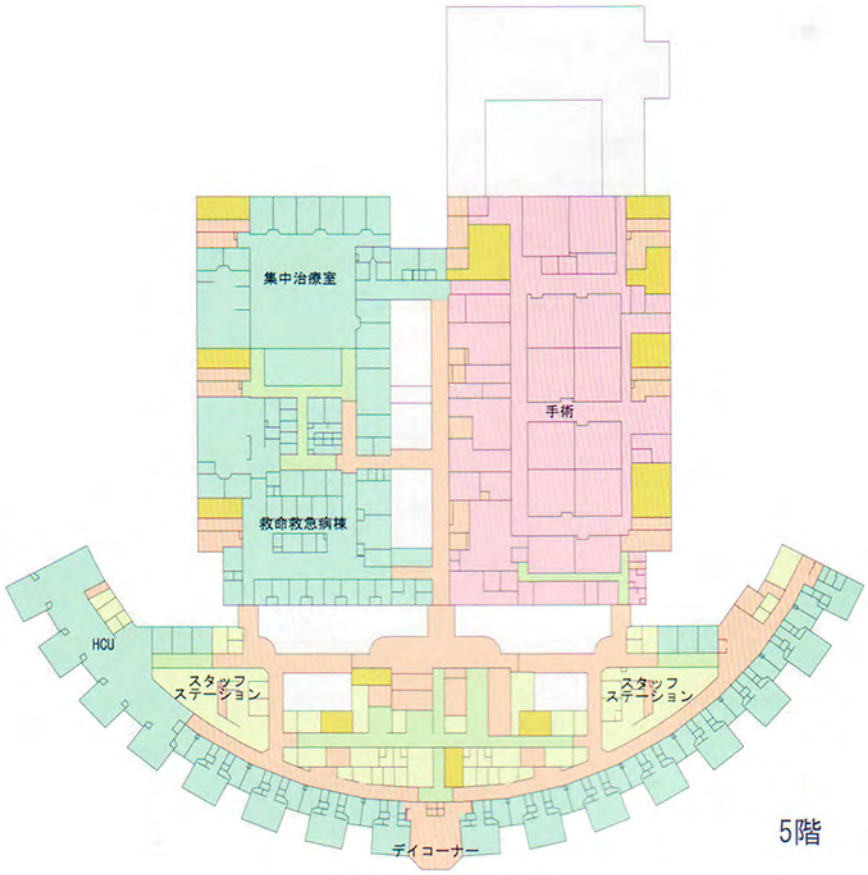
配置計画図

□平面計画

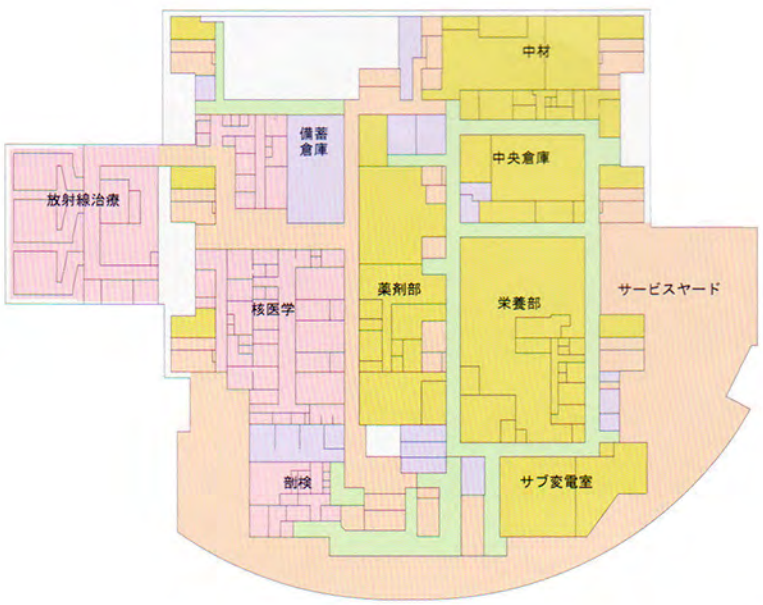
『患者さん、病院職員にとって、わかりやすく、機能性に優れた各部門配置』



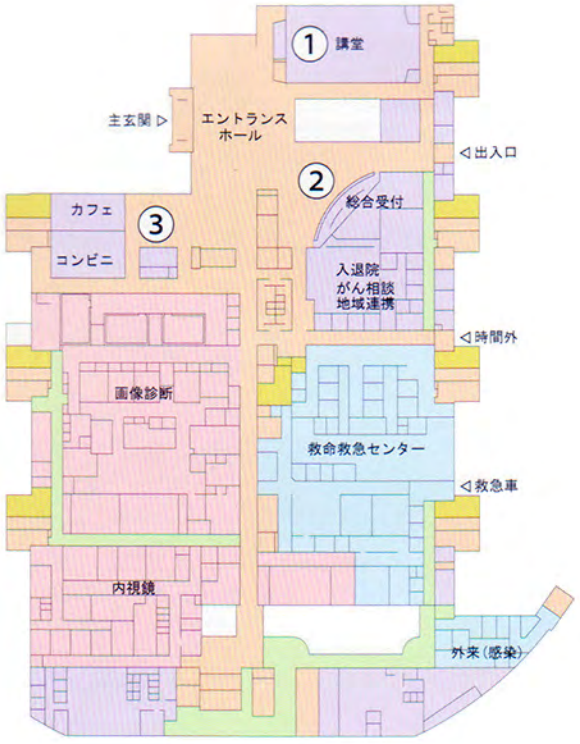
4階



5階



地下１階



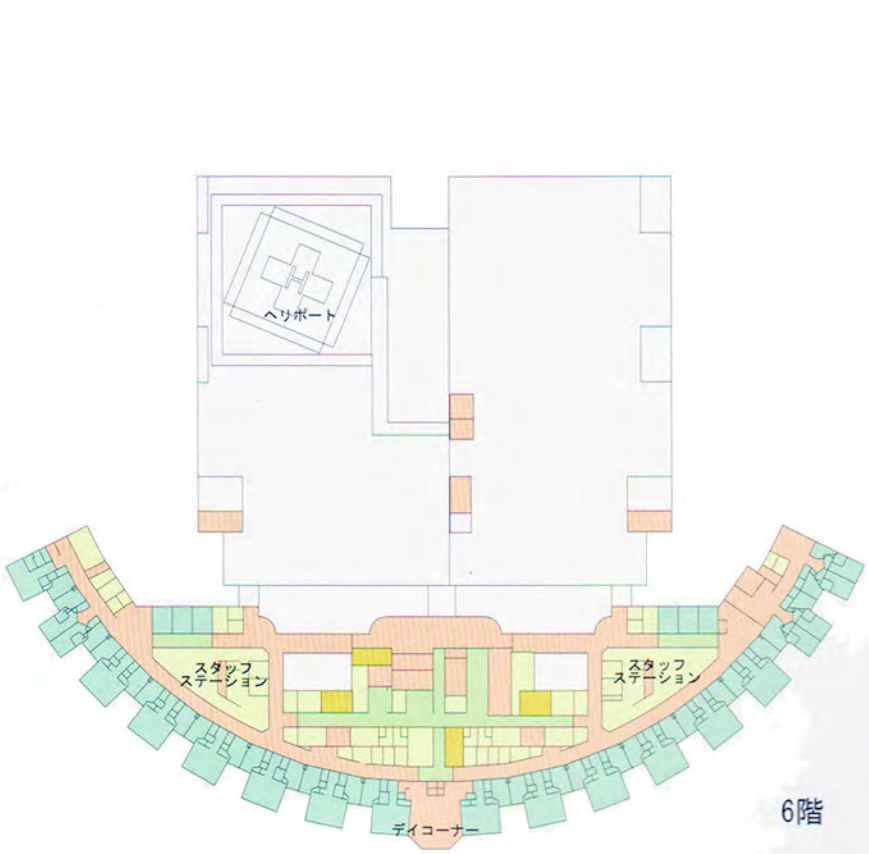
１階

①講堂（ 200 人）

②総合受付

③コンビニ・カフェ等

『緑豊かな周辺環境と自然光をたっぷりと取り込んだ、治療に取り組む意欲のわく病院』



④医局

⑤病棟スタッフステーション

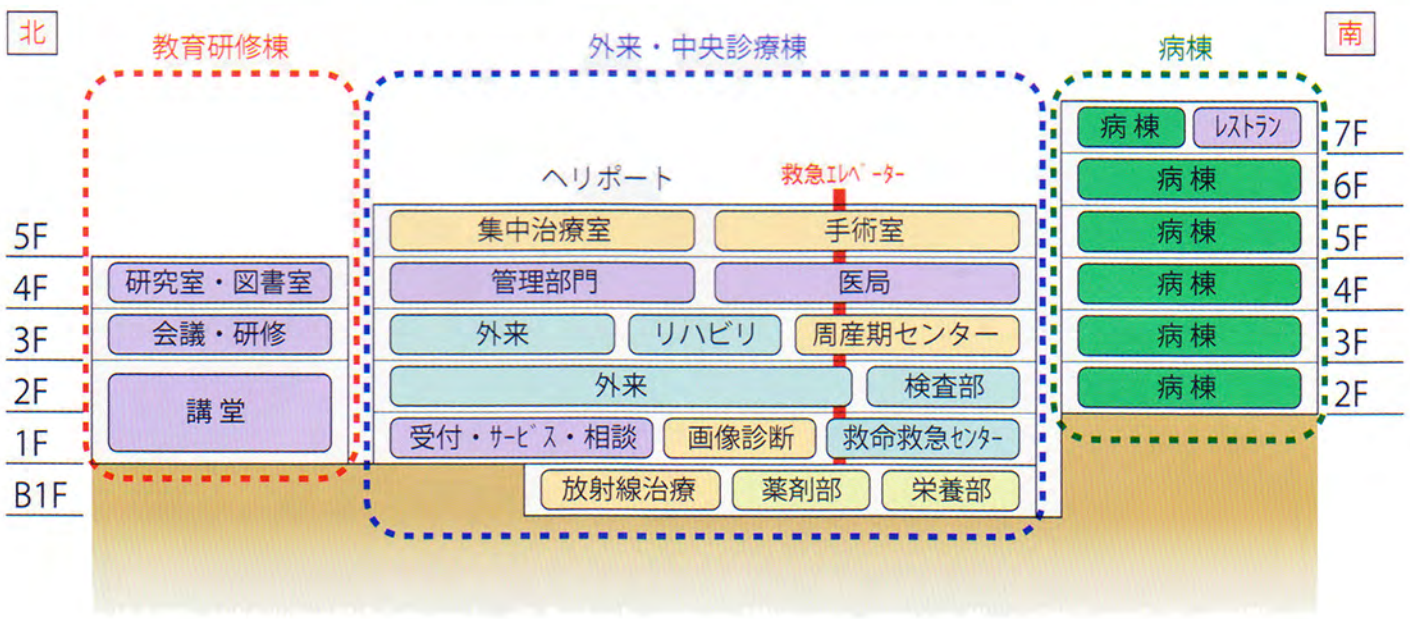
⑥デイコーナー

3層吹抜けの広々としたエントランスロビー

ゆったりと外の景色を望める外来待合

光があふれ、ゆったりとした4層吹き抜けの2階中央ホール

すべての手術室（全12室）が管理できる手術コントロール室



職員のスキルアップや地域の医療者にも利用していただける
教育研修センター

眺望のよい外来レストラン（100席）

※写真はすべて完成予想のイメージ図です

いよいよ奈良市六条山の広大な敷地で新奈良県総合医療センターの建築工事が始まります。

これまで、地元の皆様をはじめ、多くの方々のご理解、ご協力をいただいたことに、改めまして感謝申し上げます。

奈良県の大きな県政課題として医療提供体制の整備を位置づけ、新奈良県総合医療センター、奈良県立医科大学附属病院、南和医療体制の整備などに取り組んでまいりました。

この新奈良県総合医療センターは、ＥＲ型救急医療や周産期医療を充実させ、最先端のがん専門医療の機能も備えるとともに、地域の医療者の皆様に教育研修の場としてご利用いただけるよう教育研修センターを併設整備することとしています。

今後も奈良県立病院機構と協力し、新病院オープンに万全の準備をして、県民の皆様のご期待に応えてまいります。

奈良県知事　荒井正吾

この度、奈良県荒井正吾知事をはじめ、関係施設の皆様のご支援により、新奈良県総合医療センター建築工事を着工する運びとなりました。

職員一同、奈良県医療の発展に貢献する決意を新たにしているところです。

この新奈良県総合医療センターは、総面積12ヘクタールの広大な敷地の中に、地下1階・地上7階、病床数540床で開院する予定です。十分な自然光が各部所の隅々まで行き渡り、患者にとって最適な療養環境を徹底して設計されています。将来を見据た、まさに奈良県の拠点病院となり、県民への"仁と愛に満ちた医療"を提供します。また、教育研修棟も併設し、法人だけではなく、奈良県の医療人のレベルアップを支援していく計画をしています。これにより、奈良県の医療はさらに良くなり、医療界をリードする"理想の医療"を提供する病院になる日が来るものと固く信じております。

地方独立行政法人奈良県立病院機構

理事長　榊　壽右

地方独立行政法人 奈良県立病院機構
Nara Prefectural Hospital Organization

〒639-1041
大和郡山市満願寺町 60-1
（奈良県郡山総合庁舎内）

電話 0743-85-7025
FAX 0743-85-7026

「唐招提寺」「薬師寺」　二つの世界遺産を抱く西ノ京
新病院は、地域が持つ自然を活かして、緑の中で癒される環境に立地します。

近鉄学園前駅から約25分

近鉄西ノ京駅から約10分

近鉄郡山駅から約20分

※写真はすべて完成予想のイメージ図です